

92 オオコウラナメクジ

(オオコウラナメクジ科)

兵庫県ランク:B

Nipponarion carinatus

環境省ランク:NT

種の概要

本州、四国、九州に分布し、主に山地の林床に生息するが、日本海側では海岸近くの低山地にでも見られる。全国的に分布するものの確認例は少なく散見的である。非活動時は30mmほどに収縮し太短いが、伸長すれば軟体長50mmほどになる。軟体の頭部や外套膜前方は黄褐色で、後方は斑や網目模様がある。背中には稜角があり、背中前方の楕部には楕円形の殻板が内在する。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
				○			○

県内分布

神戸市、三田市、佐用町、豊岡市、養父市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。淡路島以外で散見されており、確認地は少なく、各所での生息確認数も1個体の場合が多く、再確認が困難な種類である。林床の倒木下や落葉下で見つかることが多いが、生息環境的に特定しにくい種類である。

保護上の留意点

生息環境的に特定しにくい種類であるが、自然林や社寺林、手入れをされた杉林の保全が必要である。



写真提供：増田修



写真提供：増田修

【執筆者】 増田修